

令和4年6月9日

貝塚市議会議長 殿

## 視察・研修会報告書

報告者 平岩征樹

参加者 平岩征樹

### JISSEN 自治体政策青年ネットワーク 2022 年度年第 2 回研修会

開催日：令和4年5月10日（火） 14：00～15：00

会場：福岡県庁

#### ○ 地方版 IoT 推進ラボが集積する福岡県

講師：福岡県商工部新産業振興課

IoT 関連の世界市場は、2018 年の約 69 兆円から 2022 年には 107 兆円へと大きく拡大するとの予想もあり（米調査会社 IDC）、政府の「骨太の方針 2019」においても日本経済の「地方活性化の鍵」として位置付けられている。

福岡県は産学官で構成される「福岡県ロボット・システム産業振興会議」や「福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議」の取組みにより、ロボット、半

導体、ソフトウェアなど、IoT 関連の高度な技術力を持つ企業が集積されてい

る。企業間のマッチングも積極的に行っており、IoT を推進していくことで県内企業の IoT 関連産業への参入を促進するとともに、県内各産業の課題解決や生産性を向上させる取組みは、福岡県のリソースを十分に活かしたものだ。一方でプレーヤーの事業者がいてこそ成り立つものでもあり、行政が旗振り役を務める難しさも感じた。

#### ○小児がん患者の支援について

講師：にこすま九州代表理事

近年の治療法の発達により、小児がんは大部分が治る病気となり、たくさん子ども達が学校や社会に復帰している。小児がん経験者が病気を乗り越え、自分らしく社会で活躍できるように、さまざまな支援を行っている団体からお話を伺った。治療後の晩期合併症や再発・その他諸処の健康状態に対する悩みが絶えないのも事実であり、治療中・治療後の子ども達と、社会で活躍している小児がん経験者には、共通する体験や不安がたくさんあるようだ。

小児がんを支援する団体は、まだまだ数が少ないのが現状だが、小児がん経験者が病気を乗り越え、自分らしく社会で活躍できるように、行政とも連携して取り組んでいく必要があると感じた。

開催日：令和4年5月11日（水）10：00～12：00

会場：福岡県古賀市役所

#### ○ 古賀市の広報について

田辺一城市長から、古賀市の市政運営、予算編成の見える化、シティプロモーションや広報活動、福祉や子育て、人権推進など幅広い分野でお話を伺った。市民に対して、古賀市の政策、総合計画や予算について知っていただくため、見やすい広報資料の作成を心がけている等説明頂いた。

#### ○ 薬王寺温泉オフィス「快生館」について

古賀市役所でお話を伺ったのち、場所を移し、休業した温泉旅館をリノベーションした施設である「快生館」の視察を行った。

居室や共有スペースなどには和の空間でヨギボーなども置かれており、豊かな自然の中で知的創造もできる素敵な空間。

東京と福岡にオフィスを置き、週半分は福岡で仕事を行う企業もあるようで、新しいワークスタイルとして、地方での働き方の選択肢の一つになりうるものであるととても参考になった。

